

幼稚園・保育所の沿革 季節保育所から

歴史の散歩道

昭和37年、村は「季節保育所」を開設しました。農繁期の臨時保育所で、当初は草野、飯樋、比曾、大倉地区の4か所で、その後長泥、白石、佐須、小宮地区でも開かれました。さらに常設の要望を受けて、昭和41年には飯樋小学校に、昭和42年には草野小学校に併設の「幼児学級」を開設。これを前身として、昭和43年に草野幼稚園、昭和44年に飯樋幼稚園が設立されました。「幼稚園」は文部科学省所管の学校教育施設。一方「保育所（園）」は厚生労働省所管で就労など事情のある保護者に代わって保育を行う児童福祉施設です。現在は幼保二元化が進み、両機能を併せ持つ「認定こども園」も普及しています。村内に待望の保育所「やまゆり保育所」が開所したのは平成13年です。同20年からは「いいたて福祉会」が運営主

体となりました。そして平成23年、震災と原発事故に伴う全村避難で、草野幼稚園を川俣町立川俣幼稚園に、飯樋幼稚園を同富田幼稚園に移設。翌24年には福島市飯野町に仮設園舎を開設しました。「やまゆり保育所」も川俣町の仮設保育所で、子どもと保護者に寄り添う保育を継続しました。多くの子どもとその保護者、歴代の関係者が足跡を刻んだ幼稚園・保育所は平成30年3月に閉園。同4月に、2園と「やまゆり保育所」を合併する形で幼保連携型認定こども園「まていの里のこども園」が設立され、村内での保育が再開されました。こども園には令和6年3月現在43人の園児が通園し、笑顔あふれる園生活を送っています。



仮設園舎では「草野・飯樋幼稚園」として保育を継続。2つの制服、2つの園歌がありました。(平成24年)



季節保育所は公民館などの公共施設を利用し農繁期に開設されました。写真は端午の節句(昭和38年)。

4月23日は「子ども読書の日」です。交流センターにはたくさんのお絵本が揃っていますのでお気軽にお越しください。



福島の旬を届けてくれるタウン情報誌 CJ Monmo。福島県内の新しいもの、美味しいもの、楽しいものなどがたくさん掲載してあります。見るだけでも気持ちがわくわく。4月号には飯館村についても紹介されています。暖かくなってきたのでCJ Monmoを参考にお出かけするのもいいですね。ぜひ手に取って読んでみてください。

定期購読で購入しているのでバックナンバーも貸し出せます



シージャー モンモ 「CJ Monmo」4月号 エス・シー・シー発行 (毎月25日発売)



おすすめ図書を紹介します

ふれ愛館だより

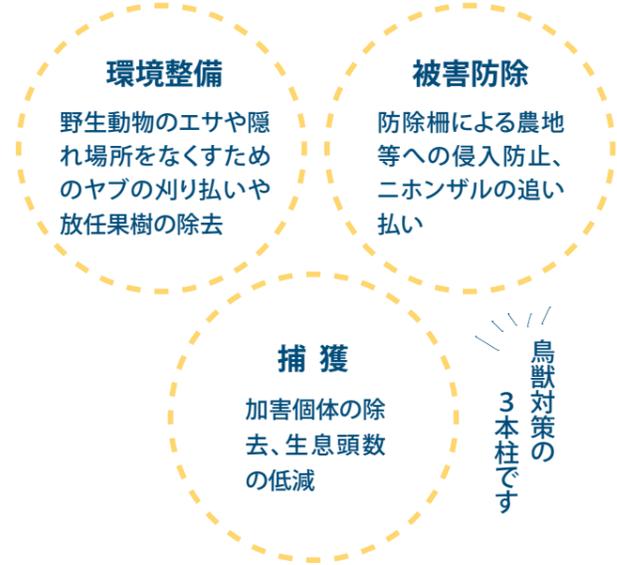
交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

いいたて 12 イノサル通信

令和6年度の鳥獣対策

鳥獣被害対策の3本柱

初回のイノサル通信(広報いいたて令和5年5月号)でもお伝えしましたが、鳥獣被害対策には、「環境整備」「被害防除」「捕獲」の3つの柱があります。それを地域や被害の状況に合わせて組み合わせることで、鳥獣被害に強い地域を作ることができます。



一緒に対策に取り組みましょう

令和6年度も引き続き、鳥獣に強い地域を実現するために、村や地域による対策を支援していきたくと思います!ぜひ、皆さんも研修への参加や、困りごとがあれば相談してください。一緒に鳥獣対策に取り組みましょう。

福島県避難地域鳥獣対策支援員が令和6年度に予定している取り組み

- 防護柵に関する研修会
- 飯館村鳥獣被害対策実施隊との連携
- 伊丹沢モデル地区事業
- イノシシ、ニホンザル等の調査 等々

鳥獣対策について地域で話してみませんか?

「野菜を食べられて、どうやって防げばいいかわからない」「対策をしているのに、効果が出ない」などの困りごとはありませんか?もしあるなら、解決のためにお話する場を作ってみませんか?福島県避難地域鳥獣対策支援員が相談に乗ります!

内容や実施日等については、柔軟に対応します

無料 / 平日夕方や土日祝でもOK / 時間は30分程度から、ご要望に合わせて / 少人数歓迎

お申し込み、お問い合わせは飯館村役場産業振興課農政第二係までお願いします。

問 産業振興課農政第二係 ☎0244-42-1625

昨年度の実施状況(草野地区)



イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する鉄谷さんからののお知らせです。



福島県避難地域鳥獣対策支援員

てつ や たつ ゆき 鉄谷 龍之 さん

平成31年4月から同支援員。令和3年から飯館村の鳥獣対策に携わり、今年度から村の主担当。専門は野生動物管理・鳥獣被害防除。